

南丹市の花・木・鳥が決まりました

平成20年4月1日制定



市の花 さくら

心に春を呼び、人を幸せな気持ちにさせる「さくら」は、日本を代表する花として広く愛され、人生の節目の中で、その思い出とともに心に刻み込まれる花です。

また、市内には桜の名所も多く、そこには人が集い、まぶしい笑顔に囲まれます。

ふるさと南丹市の歩み行く明るい未来を象徴し、豊かな文化が花開くまちづくりにふさわしい「さくら」を市の花として制定しました。

市の木 ぶな

新緑の頃にはその若葉や木漏れ日が美しい「ぶな」は、落ち葉で森に栄養を与え、根は水源をかん養するなど、その営みの中でこの豊かな自然を守っています。

また、比較的冷涼な山間部に多く、地球温暖化の影響を受ける樹木であるともいわれています。

南丹市の恵まれた自然環境を守り育て、次代に引き継いでいくための環境バロメーターとして「ぶな」を市の木として制定しました。



市の鳥 オオルリ

春とともに里山に訪れる「オオルリ」は、幸せの青い鳥を思い出させるような青く小さな小鳥であり、ウグイス、コマドリと並んで日本三鳴鳥のひとつとなっています。

また、そのさえずりは姿と同様に美しく、市内の里山周辺でよく聞くことができます。

この美しいふるさと南丹市に住む市民の幸せの象徴として「オオルリ」を市の鳥として制定しました。

